

国際福祉機器展 H.C.Rのあゆみ

第1回は厚生省、全国社会福祉協議会の共催による昭和49(1974)年の「社会福祉施設の近代化機器展」。当時は、福祉施設職員の腰痛が問題となっており、施設内の設備の近代化、業務の省力化により、就労環境の整備や施設入所者への安全な介護の提供を目的に開催。

第2回からは、「社会福祉機器展」と名称を変え、高齢者、障害者の日常生活の自立をめざし、また、介護を支援する福祉機器を一堂に展示。

昭和61(1986)年の第13回は、欧米企業の参加を得て、日本で初めての国際展示会を開催(展示会名称「国際保健福祉機器展」)。

第19回(平成4(1992)年)以降、国際展示会を毎年開催。第15回からH.C.R.(Home Care & Rehabilitation Exhibition)の名称を使用。

現在、H.C.R.は、海外からの出展が定着し、国内企業の参加も500社を超えるなど、アジアを代表する国際展示会として、Medtrade(アメリカ)、REHACARE(ドイツ)に次ぐ規模に広がっています。



回数	名称	会期	会場	主催	来場者数	出展社数
第1回	社会福祉施設の近代化機器展	昭和49('74)年11月16日~18日	都立産業会館(大手町)	全国社会福祉協議会・厚生省	9,641人	64社
第2回	社会福祉機器展	昭和50('75)年11月27日~30日	都立産業会館(大手町)	全国社会福祉協議会・厚生省	6,650人	84社
第10回	社会福祉機器展	昭和58('83)年10月28日~31日	都立産業貿易センター	全国社会福祉協議会	8,704人	71社
第13回	国際保健福祉機器展	昭和61('86)年8月28日~31日	東京晴海・国際見本市会場西館	保健福祉広報協会	22,276人	161社 (海外67社) (国内94社)
第19回	国際保健福祉機器展	平成4年('92)11月10日~12日	東京国際見本市会場B館・特設屋外テント	保健福祉広報協会 全国社会福祉協議会	41,133人	201社 (海外65社) (国内136社)
第23回	国際福祉機器展	平成8('96)年9月18日~20日	東京ビッグサイト(東京国際展示場)東4, 5, 6ホール	保健福祉広報協会 全国社会福祉協議会	117,282人	413社 (海外117社) (国内296社)
第30回	国際福祉機器展	平成15(2003)年10月15日~17日	東京ビッグサイト(東京国際展示場)東1~6ホール	保健福祉広報協会 全国社会福祉協議会	138,010人	629社 (海外61社) (国内568社)